

Curators in Panic

横尾忠則展 学芸員危機一髪

2021年3月27日(土)―8月22日(日)

開館時間 10:00～18:00
※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日
※ただし 5月3日(月・祝)、8月9日(月・振替休日)は開館、5月6日(木)、8月10日(火)は休館

会場 横尾忠則現代美術館



《方舟に持ち込む一冊の本》 1996年
アクリル・布
作家蔵(横尾忠則現代美術館寄託)

展覧会について

グラフィックデザイナーから画家に転身して 40 年、様式や主題を固定することなく変化し続ける横尾忠則の作品は、その人生とあわせて国内外から注目を集めています。2021 年から 2022 年にかけては大型回顧展「GENKYO 横尾忠則展」が国内を巡回し、当館からは過去最多となる約 140 点の作品・資料が出品されます。それは「横尾忠則」の名を冠した当館としては喜ばしいことながら、学芸員にとっては、主要作品の不在という非常事態を意味します。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大は作家との密なコミュニケーションの機会を奪い、従来の形での展覧会開催が危ぶまれる状況に陥りました。

そこで、作家と主要作品の不在を強調することにより、その存在を浮かび上がらせる展覧会「Curators in Panic～横尾忠則展 学芸員危機一髪」を企画いたしました。開館以来企画された 26 本の展覧会のうち 22 本を担当した学芸員 3 名が、「選ばれなかった」作品から個人的に思い入れのある作品を選び、日ごろの調査における発見や展覧会でのエピソードを語ります。一鑑賞者としての学芸員の視点を入りに、自由な鑑賞体験を楽しみ、横尾ワールドの豊かさを再発見する機会となれば幸いです。

主な展示作品



《時代の肖像》

1991年

194.2×259.0cm

アクリル、刺繍されたワッペン・布

横尾忠則現代美術館蔵

「滝のシリーズ」からの1点です。よく見ると、ふたつの大きな顔の輪郭が潜んでいて、互いに向き合っているようにも、そっぽを向いているようにも見えます。実はそれらはイラクのサダム・フセイン大統領とアメリカのジョージ・ブッシュ（父）大統領です。イラクとアメリカを中心とする多国籍軍が戦った湾岸戦争を契機に描かれた作品で、流れ落ちる赤い水は戦争で流された血を連想させます。横尾さんがこうした政治的なテーマを描くのはたいへん珍しく、また大作はだいたい150号F（約182×227cm）が多いのですが、この作品はさらに大きな200号F（194.2×259.0cm）のキャンバスに描かれ、堂々たる威容を誇っています。（A）

※選出者：A, Y



《大阪の親戚に魚屋の力松という人がいた。ぼくが母と一緒にこの人の家を訪ねると、きまったように「タコ食うか?」といってタコの足を切った。この力松のおっちゃんがある日、ぼくの家にチンドン屋を連れてインチキ石鯰を売りに来た。そして夜になると三味線と太鼓で怪しげなパフォーマンスをするのだった。》

2001年

100.3×80.3cm

アクリル、コラージュ・布

作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

ものすごく長いタイトルの作品。大阪に住んでいた親戚の力松おじさんの印象が描かれています。インチキ石鯰を売りさばこうと、西脇の横尾家に乗り込んできたおじさんには、ちndon屋の一行も同行していました。目立つ格好で横尾家に入り出る彼らを目撃した友人たちには冷やかされるわ、夜毎に酒盛りを行い、卑猥な宴会芸が繰り広げられるわで、少年時代の横尾さんはすっかり辟易してしまいました。

時は流れて2018年、「横尾忠則 在庫一掃大放し展」という展覧会を開催した時のことです。美術館をセール会場に見立て、関連イベントとしてちndon屋さんのライブパレードを開催するという楽しい展覧会だったのですが、この時やって来た大阪の「ちndon通信社」代表、林幸治郎さんから貴重な証言が飛び出しました。「若い頃、大阪の『青空宣伝社』っていうちndon屋さんで修行したんやけど、そういえば昔インチキ石鯰つくってた、言うてたなあ」。なんと、かつて横尾家に襲来したちndon屋さんは、実は「青空宣伝社」だった可能性が極めて高いことが判明。かくして横尾忠則研究の歴史に、新たな1ページが加わったのでした。（A）

※選出者：A, Y

Yokoo Tadanori Museum of
Contemporary Art

Y+T MOCA

横尾忠則現代美術館



《マン・レイの夢》
1987年頃
194.0×194.0cm
油彩、コラージュ、釘・布
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

1987年の横尾さんの日記に「板に釘でマンレイのポートレイトを描く」というメモがあったので探してみたら、本当にありました。アイロンの底部に鋏を貼り付けた作品《贈り物》からのインスピレーションでしょうか。マン・レイの顔もどことなくアイロンっぽく見えます。当時の横尾さんはダダとシュルレアリスムの作家から大いに刺激を受けていました。(M)

※選出者：M, Y



《落下するビートルズ》
1991年頃
162.2×130.6cm
油彩・布
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

当館に着任後まもなく、アーカイブルームにあった謎の着古した T シャツ（しかも額入り）の正体を調べてみるとジョン・レノンからのプレゼントと判明。その後、大量のビートルズ関連の記事の切り抜きから横尾さんのビートルズマニアぶりを知ったことが「ヨコオ・マニアリズム vol.1」の企画に繋がりました。本作ではビートルズの背景に滝が描かれています。13000 枚の滝の絵葉書を収集したという横尾さんの変わらぬ偏執狂ぶりが窺えます。「横尾忠則 肖像図鑑」（川崎市市民ミュージアム）のポスター（2014 年）では背景が鯨幕のようなストライプになっていた。「もしかして Abbey Road ですか？」と聞いてみたら「それは気づかなかった」と言われました。ところで気になるのはメンバーが手にしている魚。謎です。(M)

※選出者：M, Y



《近未来への出発》
2019年
181.8×227.3cm
アクリル・布
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

「横尾忠則 大公開制作劇場」展の開幕日に行われた公開制作で描かれた作品。展覧会図録のカバーに使われた 2005 年の熊本市現代美術館での公開制作の写真をもとに、構図が類似したフェルメールの《絵画芸術》を重ね合わせて描かれました。細部を省いたぼんやりと曖昧なタッチは、以降の横尾さんの作品の特徴を先取りするもので、まさに「近未来への出発」を記念する作品となっています。(Y)

※選出者：Y



《妖花》
2017年
130.3×89.4cm
油彩・布
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）

2017 年から 18 年にかけて集中的に描かれた謎めいた女性像の中の一点。この連作に共通するのは様々な日用品（キャベツや帽子、トイレトペーパーなど）によって女性の顔の一部が覆い隠されているという点ですが、本作は中でもやや変わり種。女性の顔が花と一体化しているばかりか、奇妙な紙切れが目元に重なり、福笑いのように歪んでいます。2015 年の「幻花 幻想幻画譚」展に展示した瀬戸内寂聴さんの小説『幻花』の挿絵（1974～75 年）の中にも、これに似た珍妙な生きものが登場します。どちらもうす気味悪いけれど、どこかチャーミング。(Y)

※選出者：Y

展覧会の背景

2021年1月、横尾忠則の個展「GENKYO 横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は？」が愛知県美術館を皮切りにスタートしました。横尾さんの人生を作品によって振り返るといふこの企画には、当館から130点を超える作品が出品されます。輝かしい舞台に送り出せることを喜びつつ、これまで当館でも主役を務めてきた作品たちが不在の1年間、どのような展覧会が企画できるのか……学芸員は頭を抱えました。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定していた展覧会や関連事業を見直し、人と物の動きを極限にまで抑えた形での美術館活動となり、頼みの綱は残された「うちの子」たちだけとなりました。展覧会の内容についても、通常は横尾さんのアトリエで話をしながら、段階的にアイデアを膨らませていくのですが、当然無理な相談です。

こうしたなかで生まれたのが、この切羽詰まった現状を展覧会の素材にするというアイデアでした。以下は、担当から横尾さんに宛てて書いた手紙の一部で、3名の学芸員が選出した作品のリスト、主観的な作品解説をつけて郵送したものです。本展のコンセプトに代えて掲載します。

「Curators in Panic ～横尾忠則展 学芸員危機一髪」は、コロナ禍で人も物も動けない／動かせない現状と、当館収蔵品から約140点も貸し出されるという一大事に、学芸員が窮地に陥りながらも自虐的に楽しんでしまおう、という企画です。

この企画に至るまでに、当館にある作品の開館以降の出品ランキングを作ってみました。(ランキング表を同封しました)すると、上位作品がほとんど GENKYO 展に出品されるということがわかり、メジャー選手がほとんど巡業に出てしまった状態で頑張らなくてはいけない控え選手、あるいは主役級の役者がいなくなった舞台上でチャンス到来と頑張る役者たちというイメージが浮かびました。

また、「作家と相談しながら作り上げることが難しいのであれば、いっそ学芸員が勝手に盛り上がりてしまおう」という開き直りも本展の特徴です。テーマに関係なく作品本位で各自が好きな作品を選び、面白いエピソードやマニアックな情報を語ります。そこには、「まだ世間にはあまり知られていないけれども、私たちは知っている」という学芸員の意地のようなものと、「選抜メンバーに選ばれなかったけれど、可愛いうちの子たちを見てください」という愛情が見えてくるのではないかと思います。もしかしたら、作家不在のゆるい欠席裁判とか、「窮鼠猫を嘯む」的な毒も加わるかもしれません。

横尾さんからは「人間はハンディがある方が底力を発揮する、そんな証明の展覧会になりそーです」のメッセージとともに了解をいただきました。

一見「GENKYO 展」に喧嘩を売っているような企画ですが、展覧会担当者の皆さんは笑って受け入れてくれました。「GENKYO 展」と当館の「裏 GENKYO 展」、あわせて横尾ワールドを楽しんでいただければ幸いです。



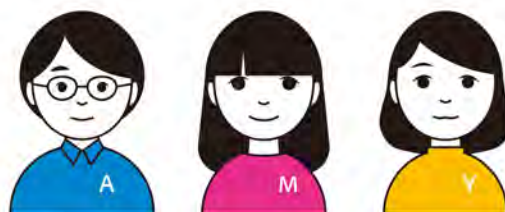
「GENKYO展」のための作品搬出作業
2020年12月24日～27日 横尾忠則現代美術館にて

関連イベント

公開座談会：学芸員「推し」を語る

■ふだんあまり解説されることのない作品たちに光をあて、選出した学芸員3名が主観たっぷりに語り合うマニアックな(?) 座談会です

出 演 当館学芸員
日 時 7月24日(土) 14:00—15:30
会 場 当館オープスタジオ
定 員 30名 (先着順)
参加費 無料



キュレーターズ・トーク

■担当学芸員が本展の見どころを解説します

講 師 当館学芸員
日 時 4月24日(土)、5月22日(土)、6月26日(土)
各日14:00—14:45
会 場 当館オープスタジオ
参加費 無料、ただし要展覧会チケット(高校生以下 入場無料)

※掲載の内容は変更される場合があります

※その他のイベント情報については当館ホームページをご覧ください

基本情報

Curators in Panic ～ 横尾忠則展 学芸員危機一髪

2021年3月27日(土)―8月22日(日)

開館時間 10:00―18:00 ※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日 ※ただし 5月3日(月・祝)、8月9日(月・振替休日)は開館、5月6日(木)、8月10日(火)は休館

主催 横尾忠則現代美術館([公財]兵庫県芸術文化協会)、神戸新聞社

後援 サンテレビジョン、ラジオ関西

協力 ホテルオークラ神戸

観覧料 一般 700円、大学生 550円、70歳以上 350円、高校生以下無料

※20名以上の団体割引および前売は行いません

※障がいのある方は各観覧料金(ただし70歳以上は一般料金)の75%割引、

その介護の方(1名)は無料

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券を

お買い求めください

出品点数 約70点

お問合せ

横尾忠則現代美術館

〒657-0837 兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30

tel. 078-855-5607(総合案内) fax. 078-806-3888

学芸担当: 平林恵(hirabayashi_megumi@ytmoca.jp)

広報担当: 足立彰久(adachi_akiyoshi@ytmoca.jp)

画像データは当館ホームページ(www.ytmoca.jp)のプレス専用ページからお申し込みいただけます

横尾忠則コレクションギャラリー

施設概要

2021年3月より当館4Fに横尾忠則コレクションギャラリーが新設されます。従来アーカイブルームの一部に設けられていた資料展示コーナーを拡張し、横尾忠則の手もとに保管されてきた様々なアーティストの作品やコレクション、アーカイブ資料などを交えた多彩な展示を行います。

開催展覧会

YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2021 [前期]

2021年3月より当館4Fに横尾忠則コレクションギャラリーが新設されました。従来のアーカイブ資料のみならず、長年作家の手もとにあった多彩なコレクションなどを様々な角度からご紹介する……はずでしたが、昨年からの猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、肝心のコレクションが美術館へ輸送できないという緊急事態が発生。同時開催の企画展「Curators in Panic ～横尾忠則展 学芸員危機一髪」と同様、ここでも学芸員はパニック状態です。そこで今回は企画展と連動し、学芸員にとって様々な思い入れやエピソードの詰まった展覧会ポスターを一堂に展示することとしました。開館以来横尾がデザインを手がけてきた歴代ポスターは、まさに当館自慢のコレクション。そのすべてを展示するのは初の試みとなります。コロナ禍におけるリアルな美術館活動の一端を、企画展とともに楽しみください。



- | | |
|------|---|
| 会期 | 2021年3月27日(土)～8月22日(日)
※会期中展示替えを行います
[第1期] 3月27日(土)～6月6日(日)
[第2期] 6月8日(火)～8月22日(日) |
| 開館時間 | 10:00～18:00
※入場は閉館の30分前まで |
| 休館日 | 月曜日
※ただし5月3日(月・祝)、8月9日(月・振替休日)は開館、
5月6日(木)、8月10日(火)は休館 |
| 主催 | 横尾忠則現代美術館([公財]兵庫県芸術文化協会) |
| 観覧料 | 「Curators in Panic ～横尾忠則展 学芸員危機一髪」
のチケットでご覧いただけます
※本展のみのチケットは販売していません |

《開館記念展I 横尾忠則展「反反復復反復」
～二度ある美は、三度ある。(横尾忠則現代美術館)》
2012年
103.0×72.8cm
オフセット・紙